

採点基準表

1 評価方法

情報通信技術基盤構築・情報通信技術利活用基盤提供業務について、以下のとおり評価を行い、契約候補者等を選定する。

(1) 評価概要

企画提案の内容について、提案評価点（提案書及びプレゼンテーションから評価する）及び見積価格点の採点を行い、その合計点を総合評価点（1,500点満点）とする。

(2) 評価基準

①提案評価点（1,200点満点）

選定委員が提案書及びプレゼンテーションを基に採点を行う。配点は各選定委員1人あたりの持ち点であり、その合計点を提案評価点とする。

<評価基準>

評価項目	評価内容	配点	項目計
実施体制	・実施体制は、本業務を遂行するにあたり適切であると考えられるか。 ・市内居住者の雇用や、運営組織の中に市内事業者を組み入れるなど、本市の経済活性化につながる工夫があるか。	5	15
	・管理責任者は情報通信技術基盤構築業務の遂行のための技術力・マネジメント能力を有しているか。	5	
	・担当者は情報通信技術基盤構築業務の遂行のための技術力・マネジメント能力を有しているか。	5	
スケジュール	・業務実施にあたっての全体スケジュールや手法が合理的なものになっているか。（令和5年12月28日（木）までに稼働できるか。） ・具体的な作業例や作業工数が合理的なものになっているか。	10	10
データ利活用	・オープンデータやIoT機器から取得したデータの連携方法が合理的なものとなっており、データの利活用が効率的・効果的に行えるものか。	40	40
プライバシー影響評価	・プライバシーリスクの潜在的な影響や脅威を評価したものとなっているか。	10	10
セキュリティ要件	・データ等の管理方法、セキュリティ対策は適切か。 ・認証、権限管理、操作ログ、監視の方法及び内容が具体的に示されているか。	20	20

運用支援及び 障害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が求めるサービスレベルを確保しているか。 ・本市の求める支援が得られる内容か。 ・運用支援内容は充実しているか。 ・障害発生時の対応内容は充実しているか。 	30	30
相互運用性の 確保	・システム間において、様々なデータに接続することが可能となる相互運用性を確保しているか。	15	30
	・データが広く社会において適正に使用されるように、組織間の壁を意識せずデータ利活用が最大限に行われる仕組みがあるか。	15	
公平性、社会的包摂、社会的影響	・あらゆる人材が能力を最大限発揮し、やりがいを感じられるような社会を実現するために、サービス機会損失を発生させず誰一人取り残さない仕組みを構築しているか。	10	10
持続可能性	・情報通信技術基盤の管理コスト低減に向けた提案があるか。	20	20
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業周知、利用促進に向けた事業計画について、多くの方に利用できるよう工夫されているか。 ・事業運営計画は適切か。 	15	15
付加提案	・情報通信技術基盤を利活用した加古川市スマートシティ構想の実現に資する提案が本市にとって有益なものであるか。	40	40

②見積価格点（300点満点）

以下の方法で見積価格点を算出する。

配点は各選定委員1人あたりの持ち点であり、その合計点を見積評価点とする。

評価項目	評価内容	配点
見積もりに対する評価	$(\text{応募者内での最低価格} \div \text{提案価格}) \times 60 \text{ 点}$ ※小数点以下は切り捨てとする	60

2 契約候補者等の選定

評価の結果、総合評価点が上位1位となった者を「契約候補者」、上位2位となった者を「次点者」として選定する。なお、合計点が同じ場合は、出席委員等の多数決で決定し、可否同数のときは、委員長が決定する。

また、総合評価点のうち見積価格点を除いた1,200点満点中の6割に満たない者は、契約候補者等に選定しない。

以上